

決算をお知らせします

令和5年度の水道事業は、給水人口、給水戸数ともに減少となりました。
また、老朽化した配水管からの漏水等により有収率（※）がわずかに減少となり、管路更新や水道施設の設備更新に伴う減価償却費などの増加により、事業収支は赤字となりました。
今年度の事業としては、市街地（西11条通等）における老朽化した配水管の改修工事のほか、浄水場施設における中央監視設備の更新工事などを行いました。
水道事業は「地方公営企業」という企業形態で経営され、事業に必要な経費は水道料金でまかなわれています。町民のみなさんへ安全・安心な水道水を安定的に供給していくため、引き続き計画的な更新を行い、事業収支のバランスや財源の確保など、効率的な事業運営と給水サービスの向上に努めていきます。

（※）有収率～「浄水場から出た水の量（配水量）」に対して「料金として収入のあった水の量（給水量）」の比率。100％に近いほど、効率の良い経営が行われている。（給水量÷配水量×100）

収益的収支の状況（1年間の経営活動に伴い発生する収支）

	主な予算科目	決算額	対前年度比伸率
水道事業収益	給水収益	4億1,709万円	△0.5%
	受託工事収益	533万円	79.9%
	その他営業収益	1,065万円	△10.9%
	営業外収益	2,318万円	13.4%
	収益合計	4億5,625万円	0.3%
水道事業費用	人件費	5,686万円	△2.4%
	物件費	1億4,593万円	15.4%
	受託工事費	533万円	79.9%
	減価償却費	2億5,357万円	15.4%
	資産減耗費	2,130万円	460.4%
	支払利息	2,299万円	△3.5%
	その他営業外費用	20万円	46.2%
	費用合計	5億6,187万円	16.3%
収益的収支差引		△4,993万円	

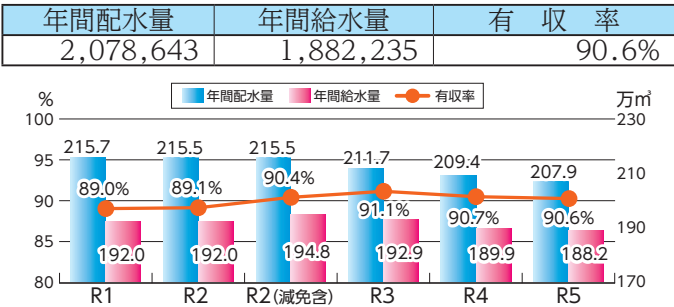
資本的収支の状況（資産取得に伴い発生する収支）

	主な予算科目	決算額	対前年度比伸率
収入	企業債	1億4,320万円	19.9%
	収入合計	1億4,320万円	19.9%
支出	建設改良費	3億5,368万円	△10.4%
	企業債償還金	1億2,117万円	△1.6%
	費用合計	4億7,485万円	△8.3%
資本的収支差引		△3億3,165万円	

業務量および企業債の年度末残高

年度末給水戸数	年度末給水人口	年度末企業債残高
10,138戸	19,156人	21億2,224万円

配水量・給水量・有収率の推移（m³）



簡易水道事業は、令和5年度より独立採算制に基づく「地方公営企業」へ移行しました。
今年度は、給水人口が減少したものの、給水戸数はわずかながら伸びがみられました。
また、今年度の事業としては、西竹地区における老朽化した配水管の改修工事のほか、浄水場施設における中央監視設備の更新工事などを行いました。配水管の改修工事により、有収率（※）は増加傾向にあるものの、事業収支は赤字となっています。
町民のみなさんへ安全・安心な水道水を安定的に供給していくため、引き続き計画的な更新を行い、事業収支のバランスや財源の確保など、効率的な事業運営と給水サービスの向上に努めていきます。

（※）有収率～「浄水場から出た水の量（配水量）」に対して「料金として収入のあった水の量（給水量）」の比率。100％に近いほど、効率の良い経営が行われている。（給水量÷配水量×100）

収益的収支の状況（1年間の経営活動に伴い発生する収支）

	主な予算科目	決算額	対前年度比伸率
水道事業収益	給水収益	2億2,922万円	－%
	その他営業収益	62万円	－%
	営業外収益	2億4,927万円	－%
	収益合計	4億5,281万円	－%
水道事業費用	人件費	1,280万円	－%
	物件費	1億71万円	－%
	減価償却費	3億2,773万円	－%
	資産減耗費	3,405万円	－%
	支払利息	1,902万円	－%
	特別損失	305万円	－%
	費用合計	4億9,736万円	－%
収益的収支差引		△4,455万円	

※「地方公営企業」への移行初年度につき、前年度比較数値なし。

一般会計からの繰入金の内訳

区分	決算額
企業債利子償還に係る分	967万円
企業債元金償還に係る分	6,663万円
繰入金合計	7,630万円

資本的収支の状況（資産取得に伴い発生する収支）

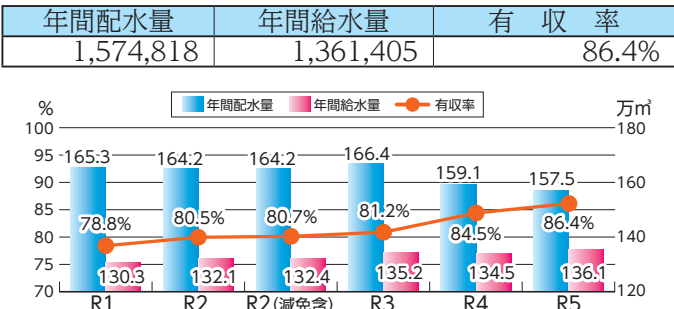
	主な予算科目	決算額	対前年度比伸率
収入	企業債	1億9,330万円	－%
	他会計出資金	6,663万円	－%
	工事負担金	1,235万円	－%
	収入合計	2億7,228万円	－%
支出	建設改良費	2億9,477万円	－%
	企業債償還金	1億3,231万円	－%
	費用合計	3億4,178万円	－%
資本的収支差引		△6,950万円	

※「地方公営企業」への移行初年度につき、前年度比較数値なし。

業務量および企業債の年度末残高

年度末給水戸数	年度末給水人口	年度末企業債残高
1,093戸	2,717人	28億6,886万円

配水量・給水量・有収率の推移（m³）



下水道事業は、令和5年度より独立採算制に基づく「地方公営企業」へ移行しました。

今年度は、水洗化人口や処理戸数にわずかながら減少がみられました。

また、今年度の事業としては、下水終末処理場における機械・電気設備の更新工事のほか、計根別浄化センターや養老牛温泉浄化センターの機械設備の更新工事などを行いました。事業収支はわずかに黒字となりましたが、一方で多額の費用がかかっており、その一部を一般会計からの繰入金でまかなっています。

町民のみなさんの快適な日常生活を支える下水道を維持するため、引き続き計画的な更新を行い、事業収支のバランスや財源の確保など、効率的な事業運営に努めていきます。

収益的収支の状況(1年間の経営活動に伴い発生する収支)

	主な予算科目	決算額	対前年度比伸率
下水道事業収益	下水道使用料	3億1,770万円	－%
	その他営業収益	3,074万円	－%
	営業外収益	5億1,612万円	－%
	収益合計	8億6,456万円	－%
下水道事業費用	人件費	1,002万円	－%
	物件費	2億7,141万円	－%
	減価償却費	5億1,117万円	－%
	資産減耗費	2,291万円	－%
	支払利息	3,121万円	－%
	その他営業外費用	600万円	－%
	特別損失	899万円	－%
	費用合計	8億6,171万円	－%
	収益的収支差引	285万円	

※「地方公営企業」への移行初年度につき、前年度比較数値なし。

一般会計からの繰入金の内訳

区分	決算額
雨水処理経費に係る分	3,066万円
水質規制事務経費に係る分	263万円
不明水処理経費に係る分	2,254万円
高資本費対策経費に係る分	716万円
分流式下水道経費に係る分	1億8,397万円
企業債利子償還に係る分	485万円
企業債元金償還に係る分	8,082万円
繰入金合計	3億3,263万円

町営牧場は、町の基幹産業である酪農畜産経営の生産コスト低減と労働力軽減などを目的として昭和38年に設置されました。昭和43年には農業構造改善事業で開陽台牧場、昭和56年には国営事業で俵橋牧場を開設し、主に人工授精牛の夏季における預託放牧を行なっています。放牧日数は161日。受入頭数は、13万3,986頭で、1日平均832頭が入牧しました。

収入については国の肥料価格高騰対策により、支援金(国庫補助金)が交付されました。

平成27年度から道営公共牧場整備事業で開陽台牧場の再整備を実施し、令和3年度で草地および衛生管理施設等、一定の整備を終了しましたが、引き続き公共牧場としての役割を十分に発揮させ、預託農家の要望に応えるためには、更なる運営方法の工夫・検討が必要であると考えています。

今年度も口蹄疫など海外悪性伝染病の侵入防止対策、家畜伝染病の発生予防とまん延防止のため、北海道根室家畜保健衛生所等の指導の下に予防検査を実施し、適切な牧野衛生と事故のない牧場運営に努めます。

資本的収支の状況(資産取得に伴い発生する収支)

	主な予算科目	決算額	対前年度比伸率
収入	企業債	1億5,500万円	－%
	他会計出資金	8,082万円	－%
	国庫補助金	1億4,098万円	－%
	道補助金	2,493万円	－%
	負担金及び分担金	411万円	－%
	収入合計	4億5,884万円	－%
支出	建設改良費	3億3,460万円	－%
	企業債償還金	3億8,719万円	－%
	返還金	56万円	－%
	費用合計	7億2,235万円	－%
	資本的収支差引	△3億1,651万円	

※「地方公営企業」への移行初年度につき、前年度比較数値なし。

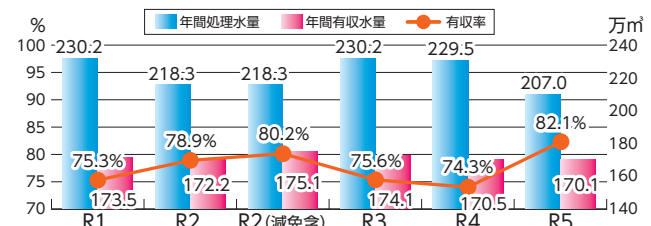
業務量および企業債の年度末残高

年度末処理戸数	年度末水洗化人口	年度末企業債残高
9,574戸	17,654人	28億7,387万円

処理水量・有収水量・有収率の推移(㎡)

年間処理水量	年間有収水量	有収率(%)
2,070,360	1,700,775	82.1%

※「終末処理施設で処理した水の量(処理水量)」に対して「料金として収入のあった水の量(有収水量)」の比率。100%に近いほど、効率の良い経営が行われている。
(有収水量÷処理水量×100)



令和5年度決算額

歳入	歳出
放牧料	管理費
3,743万円	154万円
入牧手数料	事業費
55万円	4,932万円
国庫補助金	公債費
344万円	1,394万円
財産運用収入	
429万円	
繰入金	
1,872万円	
諸収入	
37万円	
合計	合計
6,480万円	6,480万円

【主な歳出の内訳】

- ◆管理費……消費税、牧場運営委員会などに係る諸経費
- ◆事業費……草地の管理経費など
- ◆公債費……借入金の元金および利子の償還金